

## 祝 辞

本日、ここ海上自衛隊第 1 術科学校大講堂において、第 120 期幹部予定者課程の入校式が厳粛に挙行されるにあたり、江田島市民を代表して、一言お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部候補生の皆様、御入校おめでとうございます。我が国の将来を担う若者をお迎えすることは、地元江田島市としても大きな喜びであり、心より歓迎を申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境を見ますと、近年、中国海軍の示威行動は勢いを増しており、日本周辺海空域での活動は、拡大・活発化を続けております。また、北朝鮮では、昨年、相次いで核実験や弾道ミサイルの発射実験を行う等、様々な課題や不安定要因が、顕在化・先鋭化してきており、東アジアにおける安全保障環境は、一層厳しさを増しております。

そのような情勢の中、自衛官の皆様が、日本国民の生命・財産を守り、平和の安定に日々貢献されていることは、大変心強く、頼もしく思っております。

どうか、皆様におかれましては、海軍兵学校の伝統を受け継ぐここ江田島で、幹部自衛官として、自己の信念に基づき、強い責任感と確固たる使命感をもって、職務を全うする技量を身につけていただきたいと思います。

御存知のとおり、ここ江田島は、明治 21 年、今から 129 年前に、海軍兵学校が東京築地から移転し、その後昭和 31 年に海上自衛隊をお迎えし、現在に至る 60 年を超える長い期間、共存共栄、一体不可分の関係で発展しており、自衛隊の皆様との「縁」を、尊び、重んじてきた地でございます。

本市は、四季折々の美しい自然に囲まれ、秀峰、古鷹を望む風光明媚な瀬戸の島として、親しまれております。また、春先には、市内の風景を楽しむことのできる「えたじまウォーキング」や、6 月にはカヌーやサイクリングなどで、海から山まで、江田島市の自然を満喫できる「SEA TO SUMMIT」といったイベントも行われます。

ぜひ、厳しい訓練の合間には、こうした地域の催しにも参加いただき、江田島市の恵まれた自然や豊かな人情に触れ合い、江田島市との「縁」を紡ぎながら、思い出深い学生生活を送っていただきたいと思います。

どうか、くれぐれも健康に留意していただき、全員元気な姿で卒業の日を迎え、幹部自衛官として、国民の信頼と期待に応えるべく活躍されることを切に願っております。

結びになります。日本の国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして皆様の御健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

平成 29 年 2 月 17 日

江田島市長 あきおか しゅうさく  
明岳 周作